

全日本ロードレース第9戦 MFJGP 鈴鹿

Result

<レース1>

予選タイム	グリッド	周回	所用時間	トップ差	ベストタイム	順位
2'09.363	17	7	15'12.243	27.281	2'09.101	15

<レース2>

予選タイム	グリッド	周回	所用時間	トップ差	ベストタイム	順位
2'09.363	17	19	41'47.552	1Lap	2'10.507	DNF

Setting Data

<レース1>

日付	2017年11月5日(日)			時間	11:00 ~		イベント	2017MFJ全日本ロードレース選手権最終戦MFJGP		
天気	晴れ		マシン	GSX-R1000 L7		ライダー	今野由寛 Yoshihiro Konno			
コース	名称	鈴鹿サーキット				気温	22		°C	
	コンディション	DRY				気圧	1030		hpa	
	路面温度	24	°C (計測時間 10:30)		湿度	27		%		
エンジン	スパークプラグ	NGK R0373A-10				エンジンOIL	SUNOCO REDFOX 10W-40			
	ファイナルレシオ	15 x 44		(2.93)		チェーンリンク数	RK GC520XUWR	120	リンク	
トランスミッション	1st	A (36/17)	2.12		4th	B (31/21)	1.48			
	2nd	A (37/20)	1.85		5th	C (30/25)	1.36			
	3rd	B (36/22)	1.64		6th	C (32/25)	1.28			
フロント	パーツ名	SHOWA SPL 750mm				TEN	-15		段	
	スプリング	9.50		N/m		OIL	SNR7			
	トップアウトスプリング	1	N/mm	130	mm	油面	400		mm	
	イニシャル	12		mm		残ストローク	-		mm	
	COMP	-12		段		突き出し	-		mm	
リア	パーツ名	SHOWA SPL 380mm				リンク	SPL			
	スプリング	93.3		N/m		リンクロッド	SPL		mm	
	トップアウトスプリング	120	N/mm	10	mm	車高	STD+ 0		mm	
	イニシャル	13		mm		ピボット位置	0		mm	
	COMP	-10		段		スイング長	624		mm	
	TEN	-10		段		残ストローク	-		mm	
タイヤ	フロント					リア				
	銘柄	ブリヂストン RACING BATTLEAX V02				銘柄	ブリヂストン RACING BATTLEAX V02			
	サイズ	120/60R17				サイズ	190/65/17			
	エア圧	1.8				エア圧	1.4			
チェック	順位	15				ベストラップ	2'09.101			
	水温	°C				油温	°C			
	ガソリン	IN	-	ℓ		走行距離	km			
		OUT	-	ℓ		燃費	km/ℓ			

<レース2>

日付	2017年11月5日(日)		時間	14:50 ~		イベント	2017MFJ全日本ロードレース選手権最終戦MFJGP			
天気	晴れ		マシン	GSX-R1000 L7		ライダー	今野由寛 Yoshihiro Konno			
コース	名称	鈴鹿サーキット			気温	18		°C		
	コンディション	DRY			気圧	1032		hpa		
	路面温度	20 °C		(計測時間	10:30)		湿度	34 %		
エンジン	スパークプラグ	NGK R0373A-10			エンジンOIL	SUNOCO REDFOX 10W-40				
	ファイナルレシオ	15 × 44 (2.93)			チェーンリンク数	RK GC520XUWR		120 リンク		
トランスミッション	1st	A (36/17)		2.12		4th	B (31/21)		1.48	
	2nd	A (37/20)		1.85		5th	C (30/25)		1.36	
	3rd	B (36/22)		1.64		6th	C (32/25)		1.28	
フロント	パーツ名	SHOWA SPL 750mm			TEN	-15		段		
	スプリング	9.50 N/m			OIL	SNR7				
	トップアウトスプリング	1	N/mm		130	mm		油面	400 mm	
	イニシャル	14 mm			残ストローク	— mm				
	COMP	-12 段			突き出し	— mm				
リア	パーツ名	SHOWA SPL 380mm			リンク	SPL				
	スプリング	93.3 N/m			リンクロッド	SPL mm				
	トップアウトスプリング	120	N/mm		10	mm		車高	STD+ 0 mm	
	イニシャル	13 mm			ピボット位置	0 mm				
	COMP	-10 段			スイング長	624 mm				
	TEN	-10 段			残ストローク	— mm				
タイヤ	フロント				リア					
	銘柄	ブリヂストン RACING BATTLAX V02			銘柄	ブリヂストン RACING BATTLAX V02				
	サイズ	120/60R17			サイズ	190/65/17				
	エア圧	1.8			エア圧	1.4				
チェック	順位	リタイヤ			ベストラップ	2' 10. 507				
	水温	°C			油温	°C				
	ガソリン	IN	-		ℓ	走行距離	km			
		OUT	-		ℓ	燃費	km/ℓ			

<コメント>

皆様こんにちは！

あっという間に最終戦です。この間鈴鹿8耐が終わったばかりとっていましたが時間がたつのは早いですね～。

今回は事前テストが無く直前のスポーツ走行に行きましたが台風の影響で西コースが使えず東コースのみの走行でした。しかも雨…。夕方の走行のみドライで走行できました。機能の確認が出来たので予定していたテスト項目はレースウィークに。

岡山レースはすべてSTDパーツでしたが鈴鹿から足回りをJSB仕様に変更して戦います。

(エンジンはミッションのみ交換、メーカー出荷時の一度も組みなおしていないストック状態のエンジンです。)

今回は木曜日から走行があり、タイヤの確認等をしていきました。

トラクションコントロールやオートブリッピング、ローンチコントロールなどの設定はレースで戦えるレベルまでできています。

初日は思ったよりタイムが出ずに終了。足回りは8耐で実績のあるパーツなのでそんなに悩む事は無いと思ってましたが、新型車両でのセッティングの合わせこみに時間がかかりそうなイメージでした。

レースウィークなので大きなセッティングの変更も難しいので、ステムのブラケットオフセットを29mmから27mmに変更

リヤバネレートも96.1N/mmから97.3N/mmへ、しかしストロークをもう少し使いたかったので93.3N/mmへ変更しました

フロントフォークの剛性違いもテストしましたが結果元に戻すことにしました。

レースなのでライダーのコメントをセッティングに反映させていきましたが、最初に持ち込んだ仕様からフロントの突き出し量がかなり大きく突き出ました。しかしその姿勢もう少し時間をかけて見直していきたいと思います。

予選は気合で2' 09. 363を出しましたが17番手グリッドになりました。

レース1はローンチコントロールが上手く機能してかなり順位を上げられましたがJSB勢のエンジン出力との差は大きくストレートで抜かれるとなかなか抜き返せない状況でした。7週のレースでしたが15位でチェッカーを受けました。

さてレース2ですがスタートで大きく順位を落として21位で一周目を通過しました。

17位まで順位が上がりましたが19周目にマシントラブルでリタイヤとなってしまいました。

これで2017年のレース活動はすべて終了です。

ご協力いただきましたスポンサー各社様のおかげで走り切れしました。ありがとうございます。

また変わらぬ応援をしていただきましたファンの皆様の声援も力になりました。ありがとうございます。

また来年もお会いできるのを楽しみにしております。

Sサプライでもレースの情報をリアルタイムに発信していきます。もしよければご覧下さい。

S SUPPLY Facebook <http://www.facebook.com/pages/S-Supply/452966391546855>

S SUPPLY twitter @SSUPPLY_

(株)Sサプライ
畑中 健太郎

